





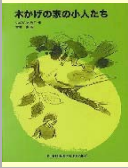


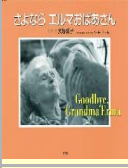








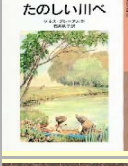

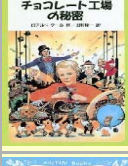

「県民が子どもにすすめる本 200選」


















【小学校高学年向】

番号	表紙	シリーズ名	タイトル	作者	絵	訳	出版社	要約	出版年
1		魔法少女マリリンシリーズ	青い石の伝説	村山早紀	佐竹美保		教育画劇	万年5級の魔法学校生マリリンが夏休みに出会ったのは「冒険者」たち。マリリンも仲間となって胸おどる冒険へと旅立ちます。	1995
2			あしたは月よう日	長谷川集平			文研出版	いい天気の日曜日というのにおとうちゃんはテレビばかり……。ありがたりの休日がどんなに大切だったかを思い出させてくれる本です。	1997
3			ジュニア版 NHKプロジェクトX 1命を救え! 愛と友情のドラマ	NHK プロジェクトX 制作班			汐文社	人々を襲う災害や迫りくる困難に際し、知恵と勇気で立ち向かった名もなき人々のドラマ。愛と友情をテーマにしたシリーズ1作目です。	2001
4			選ばなかった冒険 光の石の伝説	岡田 淳	岡田 淳		偕成社	保健室に行く途中、ゲームの世界へとワープしてしまった学とあかり。別世界で「命」に向き合う2人の姿に引きこまれてしまいます。	1997
5		フォア文庫	お江戸の百太郎	那須正幹	長野ヒデ子		岩崎書店	捕り物の腕はさっぱり千次親分。その分息子の百太郎はしっかり者で頭も切れます。百太郎が大活躍の痛快捕物帳です。	1992
6			おーい ぼぼんた 声で読む日本の詩歌 166	大岡信 他			福音館書店	私たちの国の言葉は美しい響きや調べを持っています。挿し絵と共に存分に詩の世界を味わってほしい一冊です。	2001
7		インガルス一家の物語 (1)	大きな森の小さな家	ローラ・インガルス・ワイルダー	ガス・ウィリアムズ	恩地三保子	福音館書店	開拓時代のアメリカ、「大きな森の小さな家」を舞台に少女ローラとインガルス一家が織りなす心にしみる物語が描かれています。	2000

8			数の悪魔（普及版） 算数・数学が 楽しくなる12夜	エンツェンスベル ガー	ベルナー	丘沢静也	晶文社	算数嫌いのロバートの前に現れた数の悪魔。毎晩夢の中でレッスンが始まります。算数が苦手、という人にこそおすすめの本です。	2000
9			からす たろう	やしまたろう	やしまたろう		偕成社	教室で無視されていた主人公・たろう。しかし、彼は隠れた才能を磨き続けていたのです。そして一人の先生との出会いにより……。	1979
10			ギグラーがやってきた！	ロディー・ドイル	ブライアン・アジャール	伊藤菜摘子	偕成社	大人が子どもにひどいことをすると、うんちを踏ませる不思議な生き物・ギグラー。読み出すと笑いが止まらない楽しい本です。	2002
11		文庫版パディントンの本（1）	くまのパディントン	マイケル・ボンド	ペギー・フォートナム	松岡享子	福音館書店	ブラウン一家がパディントン駅で見つけたくま、それがパディントン。彼が行く先々で大騒動を引き起こしてしまう楽しい物語です。	2002
12			木かげの家の小人たち	いぬいとみこ	吉井 忠		福音館書店	森山家の末っ子・ゆりの秘密の仕事、それは小人たちのお世話。戦争中という厳しく不安な日々が感動的に描かれている作品です。	2002
13		五味太郎のことばと かずの絵本	ことわざ絵本	五味太郎			岩崎書店	日本人の暮らしの中で生き続けることば「ことわざ」。個性的なイラストがことわざの持つ力をどんと伝えてくれる楽しい一冊です。	1986
14		コロボックル物語 シリーズ	コロボックル物語 （1） だれも知らない 小さな国	佐藤さとる	村上 勉		講談社	子どもの時に見た「小さい人たち」を思い続ける「ぼく」。そんな「ぼく」の前について姿を現したコロボックルたち。心にしみる物語です。	1980
15			さよなら エルマおばあさん	大塚敦子	大塚敦子 （写真）		小学館	ガンの告知を受けたおばあさんが静かに自宅で死を迎えるまでの1年間を愛猫の目を通してつづる写真絵本です。	2000
16		クリスマスの絵本	サンタクロースって いるんでしょうか？	ニューヨーク・サン新聞「社説」	東 逸子	中村妙子	偕成社	「サンタクロースって本当にいるの？」この質問にある新聞社が社説で答えました。	1977

17			しまぶくろうのみずうみ	手島圭三郎	手島圭三郎		リブリオ出版	北海道の山深いところにある湖。けものたちがねぐらに帰る頃、しまぶくろうの親子が現れます。迫力ある版画が美しい絵本です。	2001
18			せかいいちうつくしいぼくの村	小林 豊	小林 豊		ポプラ社	美しい村、バグマン。少年ヤモはそこでとれた果物を市場に売りに出かけます。爆撃前の美しいアフガニスタンを描いた絵本です。	1995
19			世界昆虫記	今森光彦	今森光彦 (写真)		福音館書店	20年に及ぶ取材期間の中で、一貫して人里環境に生きる昆虫たちとそれに関するすべての自然を追い求めた著者の写真集です。	1994
20			だだずんじゃん	川崎 洋	和田 誠		いそっぷ社	「だだずんじゃん」「おいしい言葉」がたくさんつまんだ目にも耳にも心にもひびく楽しい詩集です。	2001
21			龍の子太郎	松谷みよ子	田代三善		講談社	龍になった母を訪ねて旅に出た龍の子太郎。その龍の子太郎が行く先々で苦難を乗り越え大きく成長する姿を描いた物語です。	1995
22			たのしい川べ	ケネス・グレアム	E. H. シェパード	石井桃子	岩波書店	人里離れた静かな川べで素朴な生活を楽しむ小さな動物たち。自然の中で繰り広げられるほほえましい事件の数々を描きます。	2002
23		ダレン・シャン シリーズ	ダレン・シャン 奇怪なサーカス	ダレン・シャン		橋本 恵	小学館	偶然手に入れた奇怪なサーカスのチケット。そこから主人公ダレン・シャンは数奇な運命を背負ってしまいます。	2001
24		てのり文庫	チョコレート工場 の秘密	ロアルド・ダール	ジョセフ・シンデルマン	田村隆一	評論社	貧しい少年チャーリーに世界一のチョコレート工場見学チケットが当たります。招待先の工場で子どもたちがみたあっと驚く秘密とは？	1988
25			飛ぶ教室	エーリッヒ・ケストナー	滝平加根	山口四郎	講談社	学校で巻き起こる様々な事件を通して、友情と正義と勇気の大切さを、生き生きとした子どもたちの姿を通して描いた作品です。	1992

26		ドリトル先生物語	ドリトル先生 アフリカゆき	ヒュー・ ロフティング		井伏鱒二	岩波書店	オウムのポリネシアから動物語を習い、世界中の動物たちから敬愛されているドリトル先生。猿の訴えを受け、冒険の航海へと出発です。	2000
27			長くつ下のピッピ	アストリッド・ リンドグレーン	桜井 誠	大塚勇三	岩波書店	猿のニルソンとくらすピッピは9歳。なのに大金持ちで世界一の力持ちときています。ピッピの大胆な活躍ぶりが楽しい物語です。	2000
28		ナルニア国 ものがたり1	ライオンと魔女	C・S・ルイス	ポーリン・ ベインズ	瀬田貞二	岩波書店	ピーター、スーザン、エドモンド、ルーシィの4人が迷い込んだ不思議の世界。古いお屋敷の古い衣装ダンスがそこへの入り口でした。	2000
29			のはらうた 1	工藤直子			童話屋	本を開いて、声を出して読んでみると本当にのはら村の生き物たちの声が響いてくるようです。とてもすてきな詩集。	1984
30			八月がくるたびに	おおえひで	篠原勝之		理論社	1945年8月9日、長崎の町に「原子バクダン」が落とされた日です。原爆という現実から逃げ出すことなく生きていく人々の物語です。	2001
31			八郎	斉藤隆介	滝平二郎		福音館書店	心優しい大男・八郎。大波に田畑を流された百姓たちを見て荒れ狂う海へと向かっていきます。八郎瀧にまつわる物語です。	1980
32			ひろしまのピカ	丸木 俊	丸木 俊		小峰書店	世界20数カ国で翻訳された絵本です。原爆の恐ろしさ、悲惨さ、そして人々の苦しみや怒り、強い思いが込められています。	1980
33			ふたりのロッチェ	エーリヒ・ ケストナー	W. トリヤー	高橋健二	岩波書店	別々に育った双子のルイーゼとロッチェ。ある夏偶然に出会った2人が別れた両親を仲直りさせるために立てた綿密な計画とは？	1962
34			マヤの一生	椋 鳩十	吉井 忠		大日本図書	昭和16年、久保家にやってきた熊野犬・マヤ。3兄弟とともに成長する中で戦争という現実がマヤに不幸な死をもたらしてしまいます。	1978

35			盲導犬クイールの一生	石黒謙吾 (文・構成)	秋元良平 (写真)		文藝春秋刊	「人間らしい歩き方を思い出させてくれた」との言葉を残してこの世を去ったパートナー。その後の盲導犬クイールの一生を描いた本です。	2001
36			約束の国への長い旅	篠 輝久			リブリオ出版	ナチスの迫害から逃れたユダヤ人のビザをめぐり、「祖国に従うか、人間愛に生きるか」つらい立場に立った杉原千畝の物語です。	1988
37			カラスについての まじめなはなし やたら・カラス	ひろかわさえこ文・絵			あかね書房	カラスはどんな環境にも順応し、自分のペースを守るしたたかなやつであります・・・が、この本を読むとなぜか憎めなくなります。	1990
38			よい子への道	おかべりか			福音館書店	子どもたちの毎日は、あれもこれもしてはいけないことだらけ！さあ、この本を読んでよい子になっておうちの人を安心させましょう？	1995
39		旺文社創作児童文学	夜にくちぶえ ふいたなら	たかどのほうこ	長野ヒデ子		旺文社	明日は遠足。なかなか眠れないミツオとノンコは怪しい物音を聞きつけます。カーテンを開けてみるとそこにはこれまた怪しい猫が・・・。	1998
40		ルドルフと イッパイアッテナ シリーズ	ルドルフと イッパイアッテナ	斉藤 洋	杉浦範茂		講談社	ルドルフと兄貴分のイッパイアッテナのすてきなのらねこ生活。知恵と勇気と友情のいっばいつまった物語です。	1988